



野

郎

どもの

喘

ぎ

が

聞こえまして

どえらく

エ

ロ

い

壁やドア、窓越しに





会社でややこしい合わせ技で

淫らな雰囲気醸すのやめてくれませんか



「はっ、はぁ・・ね、ねえ、だして、いい？いいって、いってよ・・♥ほ  
ら、もお、こんな、垂らして・・だして、ほしい、だろ？ん？体は、正  
直だなぁ♥限界まで、だして、ほしい？そおだろお♥くっ、んう・・も、  
もお、俺、でちやう♥なぁ、いいだろ？いいって、いえよお♥」

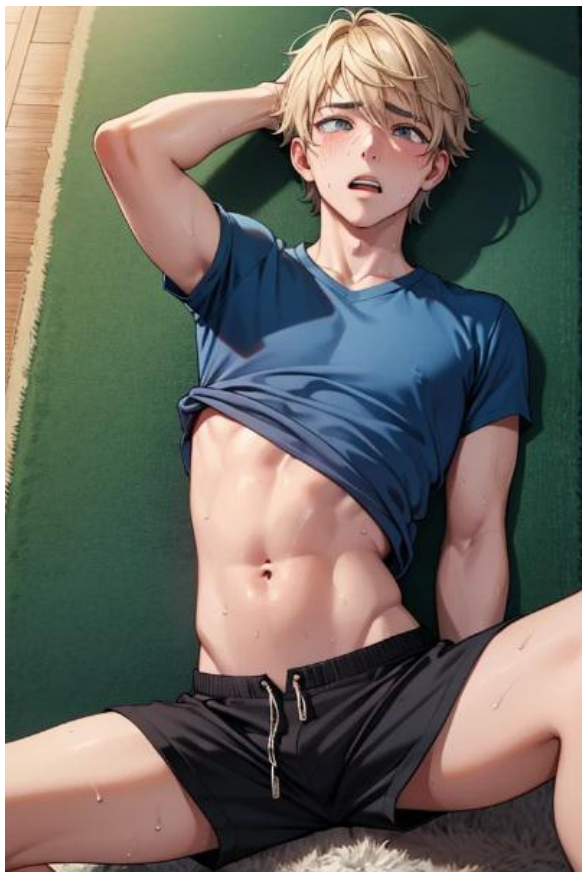
会社のイベントの準備中。

隣の部屋から艶っぽい喘ぎとばんばん！とけたたましい音。

壁に耳をつけている女子社員たちを見てため息し、ドアを開けて叫んだ。

「ソフトクリームつくる練習で変な声だすな！  
でもって隣でピザの生地づくりしないでくれ！」

俺の父親と従弟が部屋でおっぱじめたようです

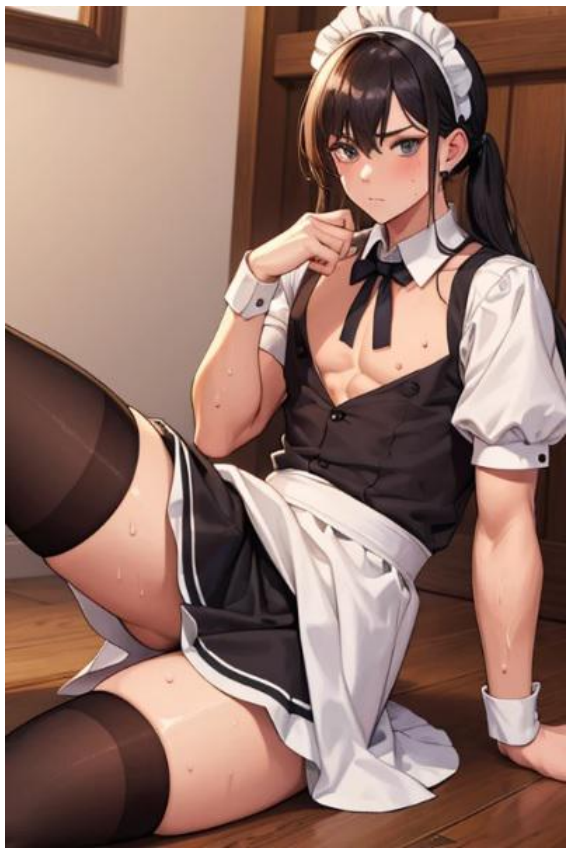


「あう、くっ・・お、おじさあぁ♥だめっ、そんな、指を、深くうつ・・♥んふう、ふうん、んんんっ♥お、俺っ、やだぁ、って、いつてる、のにいい♥あぁっ、や、やあぁ♥俺の、ためえ、なんて、嘘お♥おじさぁ、のお、意地悪うう♥あっ♥あぁ♥あはうう♥だめえ、だめえっ、俺、もお、でちゃあぁ♥」

よく家に遊びにくる従弟が俺の父親となにやらおっぱじめたよう。後ずさろうとしたらドアが開いて「んあぁあっ♥」と従弟の甲高い喘ぎが。「お、おかえり」と笑う父は片手で従弟の足の裏をつかんだまま、室内からは「やだぁ♥おじさあっ♥俺、女の子、みたいな、声、でちゃうう♥」と叫びが響いた。

ふだん威張りちらしている部長に後輩が

息遣い荒く迫って実にたのしそうだ



「はっ・・・はああ♥ふふっ、いつも、偉そうなあ、部長にいい、見下ろされるの・・・わるくなあ、ですなあ♥そんな、顔っ、しちゃってえ♥はあ、ああ、ほら、ここまで、はいったあ♥ほんと、部長っ、こわい、けどお、こっただけ、最高お・・・♥もお、こんな、敏感でえ♥ああっ、いい、いいですよお♥♥」

副部長たるもの「おまえら柔道部を潰す気かああ！」とドアを叩きつけたのだが。

文化祭で女装喫茶をするにあたり、メイドの後輩がメイドの部長にニーハイをはかせていた。

たしか後輩は足フェチなれど、部長が頬を赤らめ涙目で震えているのはアウトでは・・・。

剣道部の新入部員は胸をおっぱいと

呼ばれたくないらしい



「んくう、ああっ・・♥せ、先輩あ、たちっ、だめですう、こんなっ♥ち、ちがあっ、俺、男だからあ、おっぱあ、じゃ、なああ♥んはあ、ああうっ♥や、やめて、くださあ、俺、乳首い、弱っ、からあ♥はっ♥はあ♥はう♥だから、俺え、男お♥胸の、谷間、とかあ、恥ずかしっ♥あああ、んああっ♥♥」

道場を冒瀆する行為をしているものと思い「貴様らああ！」と踏みこんで一喝。

目にしたのは、新入部員を囲んで胸にさらしを巻いている先輩部員たち。「師範！こいつの胸、おっぱいみたいで！」「練習に集中できない！」「さらしで巻いても引っこまないし！」と一斉に訴えてきたのに頭を痛くした。

社長室で社長が高級バナナを

若い秘書に突きつけているようです



「ねえ、いってよ♥社長お、バナナを、食べさせて、くださあ、つてえっ♥この、バナナ、最高級で、絶品だぞお♥はっ、はあっ・・そんな、顔しても、逆効果、だよお♥くうう・・強情な・・焦らすねえ？はあっはあはあっ♥ねえ、もお、ほらあ♥俺の、バナナあ、食べて、とろける、きみっ、見せてええ♥」

社長室からとんでもセクハラ発言。

若い秘書対してだろう、先輩秘書としては聞き捨てならず、踏みこもうとしたら彼が跳びだしてきた。

「俺、バナナにトラウマがあるのに！」叫ぶ響きからして性的な含みはなさそうだが「バナナのトラウマとは？」と気になったもので。

